

平成 29 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 3,508,047 円

※決算額は管理費部分を除く純事業費を記載（以下同様）

1. 外国人の受入拡大事業 2,858,676 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域と交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでの相互交流の一層の拡大を図った。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

ア 中国黒龍江省との友好交流促進事業

(ア) 日本語教師派遣支援事業〔県委託事業〕

黒龍江省への日本語教師 1 名の派遣に対し助成を行った。

(イ) 黒龍江省との交流事業

日中国交正常化 45 周年を記念し、新潟県及び新潟県日中友好協会との共催により、中国黒龍江省で日本語を学ぶ学生を対象とした「新潟杯」2017 日本語スピーチコンテストを黒龍江省人民対外友好協会等と連携して開催した。

期日：10 月 14 日（土）

会場：黒龍江大学講堂

出場者：12 名（観覧者約 300 名）

また、同コンテストにおける 1 等賞受賞者 3 名を 12 月 18 日（月）から 22 日（金）まで新潟旅行に招待した。



「新潟杯」2017 日本語スピーチコンテスト

イ モンゴルとの友好交流促進事業

(ア) 「2016 “新潟賞” 日本語スピーチコンテスト」最優秀賞新潟招待旅行の実施

最優秀賞受賞者 3 名を 4 月 7 日（金）から 12 日（水）まで新潟旅行に招待した。

(イ) モンゴルへの技術協力事業

（特活）新潟県対外科学技術交流協会ほか関係団体とともに実行委員会を組織し、次の技術協力事業を実施した。

ア) モンゴル国緑化推進技術協力事業〔JICA 草の根技術協力事業〕

東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺の緑化に貢献することを目的に、専門家を派遣するとともに研修生を受け入れた。

・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課、林政課、森林研究所）、
（公財）環日本海経済研究所、（公財）新潟県国際交流協会

イ) モンゴル国ウランバートル市地区排水技術協力事業

[JICA 草の根技術協力事業]

ウランバートル市の技術者の地区湛水排除の知識・技術力の向上を図り、直面する地区湛水問題を解決することを目的に、専門家を派遣するとともに研修生を受け入れた。

・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県(国際課、都市整備課)、
(公財)環日本海経済研究所、(公財)新潟県国際交流協会

ウ) モンゴル国中小都市の中小企業等への技術協力事業

[新潟・国際協力ふれあい基金事業]

モンゴルにおける製造業を中心とする技術力の向上及び地域の経済発展に貢献することを目的に、研修生を受け入れた。

・実行委員会構成団体：

新潟県対外科学技術交流協会、新潟県(国際課)、
(公財)環日本海経済研究所、(公財)新潟県国際交流協会

(2) 留学生就職支援セミナー

新潟県内の大学や専門学校等で学ぶ留学生を対象に、日本での就職活動に必要な基礎知識や在留資格に関する留意事項など、就職情報を提供するセミナーを開催するとともに、参加企業からの自社紹介などを行った。

・期日及び会場：11月1日(水)、朱鷺メッセ

・参加者：留学生 66名、企業等 11名、学校関係者等 9名、計 86名

・内容：第1部 講演

「日本の就職活動とは～留学生が知っておくべき基礎知識～」

新潟雇用労働相談センター キャリアコンサルタント 酒井 和美 氏

第2部 講演「留学生の就職に伴う在留資格」

東京入国管理局新潟出張所 統括審査官 松下江織 氏

第3部 参加企業の紹介



留学生就職支援セミナー

2. アジアを知る事業 467,004円

(1) 国際理解セミナー

多様な姿で急速に発展し、世界の中で重要な役割を果たすようになってきているアジアの社会・文化等を学ぶ国際理解セミナーを、県内大学の教授等を講師として、県内4地区で計10回開催した。

ア 新潟市

- ① 「禅宗とはなにか?～「拈華微笑」の示すもの～」
新潟大学准教授 土屋 太佑 氏
・期日及び会場：9月10日(日)、朱鷺メッセ
・参加者：53名
- ② 「ベトナムと新潟の長くて深いつながり～ベトナムの甘くて苦いコーヒーを楽しみながら～」
(特活)新潟ボランティアセンター
事務局長 三上 杏里 氏
・期日及び会場：9月10日(日)、朱鷺メッセ
・参加者：53名
- ③ 「“台湾”の魅力～2020年“国際観光都市新潟”に向けて～」
新潟国際情報大学准教授 小宮山 智志 氏
・期日及び会場：9月24日(日)、朱鷺メッセ
・参加者：25名
- ④ 「ミャオ族の民族衣装～中国農村にいきづく手仕事のかたち～」
新潟国際情報大学講師 佐藤 若菜 氏
・期日及び会場：10月8日(日)、朱鷺メッセ
・参加者：30名
- ⑤ 「蒼のシルクロード～魅惑するサマルカンド・ブルーの世界～」
新潟大学教授 真水 康樹 氏
・期日及び会場：10月22日(日)、朱鷺メッセ
・参加者：50名
- ⑥ 「モンゴル帝国誕生～チンギス・カンの建国ビジョン～」
新潟大学教授 白石 典之 氏
・期日及び会場：10月22日(日)、朱鷺メッセ
・参加者：47名



国際理解セミナー(禅宗)

イ 南魚沼市

- 「北朝鮮の核・ミサイル危機と北東アジア情勢～北朝鮮と米中韓の圧力と融和～」
聖学院大学教授 宮本 悟 氏
・期日及び会場：9月22日(金)、国際大学
・参加者：70名

ウ 柏崎市

「韓国歴史ドラマの文化的背景～朝鮮王朝時代の上流階級～」

新潟産業大学准教授 蓮池 薫 氏

- ・期日及び会場：12月1日(金)、柏崎市市民プラザ
- ・参加者：32名

エ 上越市

①「アジア仏教と地域社会」

淑徳大学国際社会福祉研究所 アジア仏教社会福祉学術交流センター准教授
郷堀 ヨゼフ 氏

- ・期日及び会場：9月23日(土・祝)、上越市市民プラザ
- ・参加者：24名

②「現代に生きる内蒙古のモンゴル人」

新潟大学非常勤講師 新潟内モン古親善交流協会理事 斯日 古楞 氏

- ・期日及び会場：9月30日(土)、上越市市民プラザ
- ・参加者：27名

3. 受け皿整備事業 182,367円

(1) ホストファミリー整備事業

国際理解の推進と海外からの来県者のホームステイ先の拡充を図るため、ホストファミリー講座及び受入れ体験説明会を開催した。また、参加者を対象に外国語指導助手(ALT)や留学生の1泊2日のホームステイ受入体験を実施した。

ア ホストファミリー講座・説明会

① 上越会場

- ・期日及び会場：8月5日(土)、上越市市民プラザ
- ・参加者：日本人10名、留学生・ALT5名

② 長岡会場

- ・期日及び会場：8月6日(日)、まちなかキャンパス長岡
- ・参加者：日本人9名、留学生・ALT9名

③ 新潟会場

- ・期日及び会場：8月27日(日)、新潟県国際交流プラザ
- ・参加者：日本人26名、ALT11名

イ ホームステイ体験

10月14日(土)～15日(日)他

・参加者：21家庭、留学生・ALT21名

※受入家庭に対し、受入1名につき3,000円を補助した。



ホストファミリー講座(新潟会場)

II 国際協力活動の支援 4,890,474 円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金事業 4,890,474 円

(1) NGO 等への助成

海外の開発途上国などで活躍する NGO の人道援助活動等に対する財政支援等を通じ、新潟からの国際協力の推進を図ることを目的に、「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに助成金を交付した。

・助成実績：4 件、計 4,000,000 円

(2) 基金運営

ア 審査委員会の運営

助成対象の審査等を行う審査委員会を開催した。

- ・期日：12 月 12 日(火)
- ・会場：新潟県国際交流協会

イ 募金活動

市町村役場や県内各地の日帰り温泉施設及び宿泊施設等に引き続き募金箱の設置を依頼し、広く県民に「新潟・国際協力ふれあい基金」事業の周知を図るとともに、県民から基金への寄附を募った。

ウ 募金実績

(単位：円)

	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
募金額	125,993	122,786	109,576	98,748	93,487
累 計	15,305,900	15,428,686	15,538,262	15,637,010	15,730,497

Ⅲ 多文化共生の支援 15,099,317 円

5. 国際理解推進事業 4,713,393 円

(1) 広報誌の発行

県民の国際理解を促進するため、県内における国際交流や多文化共生推進の取組を県民に紹介する広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学や公共施設等に配付した。

- ・発行時期：8月(第12号)、12月(第13号)、平成30年3月(第14号)
- ・配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体等
計13,500部
【英語版】 県内大学等、公民館、図書館、市町村等 計3,500部

(2) 国際交流プラザ講座

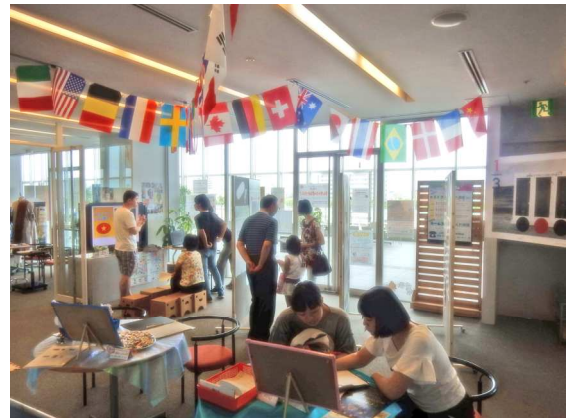
新潟県国際交流プラザにおいて、JICA ボランティア経験者等が講師となり、国際協力活動等について紹介した。

- ・講座実施数：1回(高校生1回)

(3) 国際交流プラザでの展示等

県民の国際理解を促進するため、新潟県国際交流プラザにおいて各種展示やイベントを実施した。

- ① 夏休み国際交流プラザフェア
期間：7月22日(土)～8月25日(金)
- ② 子ども講座モンゴル編
期日：7月28日(金) 参加者：14名
- ③ 子ども講座ロシア編
期日：8月4日(金) 参加者：7名
- ④ ワークショップ「17万5200回」
期日：8月6日(日) 参加者：14名
- ⑤ 子ども講座ベトナム編
期日：8月18日(金) 参加者：16名



夏休み国際プラザフェア

(4) 国際理解教育推進協議会

県内の各学校における国際理解教育の推進を図ることを目的として、教育関係者や教育関係機関で構成する国際理解教育推進協議会を設置し、ともに活動を行っている。

また、協議会の総会を平成30年3月5日(月)に開催した。

(5) 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

学校や地域における国際理解に関する学習や活動についてプレゼンテーションを行うコンテストを新潟県国際理解教育推進協議会と連携して開催した。

コンテストは中学生部門と高校生部門に分けて実施し、副賞として各部門最優秀チームを海外スタディツアーに派遣した。

【プレゼンテーションコンテスト】

- ・期日及び会場：12月16日(土)、朱鷺メッセ
- ・参加チーム数：中学生部門9、高校生部門15
- ・来場者数：延べ400名
- ・最優秀賞：

〈中学生部門〉ファッションヒーローズ
(村上市立荒川中学校) チーム

「本当にCoolなファッションはこれだ!!」

〈高校生部門〉Welcomes (上越高等学校) チーム

「留学生とのコミュニケーション術」



プレゼンテーションコンテスト

【スタディツアー】

- ・派遣期間：平成30年3月26日(月)～30日(金)
- ・派遣先：台湾・台北市、嘉義市、新北市、基隆市
- ・参加者：生徒9名、指導者2名
- ・活動内容：呉鳳科技大学日本語学科学生との交流会及び学生寮宿泊体験、台北市・嘉義市・新北市・基隆市内見学(故宮博物院、烏山頭ダム、野柳地質公園、九份)等

6. 在住外国人支援事業 3,702,883円

(1) 外国人生活相談事業

主に県内の在住外国人が文化・習慣や制度の違い等から直面している生活上の諸問題の解決をサポートするため、通訳員を配置して相談業務を実施した。

また、月1回、行政書士が来所して相談に対応した。

- ・対応言語：5カ国語(日本語、英語、中国語、タイ語、タガログ語)
- ・相談件数：157件(延べ回数423件(来訪120件、電話303件))
- ・相談内容：在留手続き、労働、教育、結婚・離婚等

(2) 相談員・通訳員育成

県内で外国人生活相談に対応する相談員や通訳員の資質向上を図る研修会を実施した。

- ・期日及び会場：平成30年3月9日(金)、新潟県国際交流協会研修室
- ・講師：新潟県精神保健福祉センター 次長 保科 志貴子 氏

(3) 相談関係機関との連携

ア 「1日入管インフォメーションセンター」の開設

主に外国人の在留資格等についての相談を受ける「1日入管インフォメーションセンター」を東京入国管理局とともに開設した。

- ・期日及び会場：6月16日(金)、新潟県国際交流協会
- ・相談件数：7件

イ 新潟県行政書士会との相談会の開催

在留資格等の専門的な分野を中心とする外国人相談会を新潟県行政書士会との共催により開催した。

- ・期日及び会場：11月20日(月)、東京入国管理局新潟出張所
- ・相談件数：10件

(4) 外国につながる児童生徒等教育支援

子どもたちが国籍にかかわらず安心して学び成長できる地域社会の実現を図るため、次の事業を実施した。

ア 外国につながる児童生徒及び保護者向け資料「日本の学校について～高校への進学など～」(10言語：日・英・中・韓・ロシア・インドネシア・タイ・タガログ・スペイン・ポルトガル)を更新し、ホームページに掲載した。

また、簡易版リーフレット「日本の高校に行こう！」(日英版・日中版)を作成した。

イ 外国につながる児童生徒及び保護者等を対象とし、通訳者等を交えた進路ガイダンスを開催した

・上越会場

期日及び会場：8月26日(土)、
上越市市民プラザ

参加者：4カ国
(中国、フィリピン、タイ、日本) 34名

・新潟会場

期日及び会場：11月4日(土)、
クロスパルにいがた

参加者：4カ国(中国、フィリピン、パキスタン、日本) 41名



進路ガイダンス(上越市)

ウ 教育相談員による電話教育相談(毎週火曜日・英・中・タイ)を実施した。

エ 新潟大学と連携して「新潟県外国につながる児童生徒等教育支援ネットワーク協議会(通称：新潟県多文化子どもネット)」において、課題の解決に向けて会議及び研修会を開催した。

- ・第1回 11月24日(金)
- ・第2回 2月13日(火)

オ 一般県民向けの「新潟県多文化子どもフォーラム」を開催した。

期日及び会場：7月23日（日）、朱鷺メッセ

参加者：45名

7. 留学生支援事業 6,683,041円

(1) 留学生国際交流活動促進支援事業

国際交流や多文化共生活動の活発化を図るため、国際交流等の活動に意欲のある県内各大学の私費留学生を大学からの推薦に基づき、審査委員会を経て、留学生交流委員に任命した。

交流委員には活動支援金を交付し、国際交流に関するさまざまな活動に参加してもらうとともに、出身国への新潟県のPR等を行ってもらった。

活動支援金：月額30,000円×12月×18名

任命式：平成29年4月9日（日）

活動報告会：平成30年3月8日（木）



留学生交流委員の活動
(子ども講座ベトナム編・講師)

Ⅳの 1 基盤強化（民間活動活発化） 3,153,784 円

8. 民間団体助成事業 1,943,606 円

(1) 国際化推進活動助成金の交付

民間団体等が実施する国際交流等の活動を支援し、地域における活動の一層の促進を図るため、活動助成金を交付した(年2回)。

- ・助成実績：民間団体等 14 団体、計 1,930,000 円
- ・事業内容：国際交流、人材育成、多文化共生推進等

(2) 研修室等の貸出

民間団体の国際交流活動を促進するため、国際交流プラザや研修室の貸出を行った。

- ・利用時間：原則として平日の 14 時～21 時、土日・祝日の 9 時～21 時
- ・利用件数：32 件

9. 民間団体ネットワーク構築事業 111,378 円

(1) 国際交流連絡会議

県内 3 地域において、市町村や民間団体等と情報交換・意見交換を行う国際交流連絡会議を開催した。

- ① 新潟会場 ・期日及び会場：4 月 25 日(火)、朱鷺メッセ
・参加者：37 団体 49 名
- ② 長岡会場 ・期日及び会場：4 月 26 日(水)、まちなかキャンパス長岡
・参加者：11 団体 13 名
- ③ 上越会場 ・期日及び会場：4 月 27 日(木)、上越市市民プラザ
・参加者：9 団体 16 名

10. 在外県人会活動支援事業 1,098,800 円

ブラジル、アルゼンチン、ホノルル、ペルー、パラグアイの各新潟県人会に対し、活動を支援するための助成金を交付した。

団体名	助成額(円)
ブラジル新潟県人会	450,000
アルゼンチン新潟県人会	150,000
ホノルル新潟県人会	150,000
ペルー新潟県人会	150,000
パラグアイ新潟県人会	150,000
合計	1,050,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 1,811,818 円

11. 人材育成事業 1,811,818 円

民間国際交流団体の人材育成や次世代を担う若者の国際理解の推進を図るため、講座やワークショップ等を開催した。

(1) 災害多言語支援ボランティア育成事業

災害時の外国人支援や支援体制について共通認識を持ち、有事の際に速やかな連携が図れるようにするため、行政職員、社会福祉協議会担当者、在住外国人、留学生交流委員、当協会登録ボランティア等を対象とした研修を実施した。

・期日及び会場：

平成 29 年 12 月 2 日（土）、上越市市民プラザ

・内容：

災害時外国人支援セミナー（講演、ワークショップ）、
模擬訓練

・講師：

栃木国際サポートセンター 代表 小松パトリシア紘美 氏

（公社）中越防災安全推進機構地域防災力センター長 諸橋和行 氏

（公財）柏崎地域国際化協会事務局長 清水由美子 氏

・参加者：46 名



災害時外国人支援模擬訓練

(2) 医療通訳育成支援事業

外国人に対する医療支援の専門家及び医療現場の方を講師に招き、現状や課題等について理解を深めるセミナーを開催した。

・期日及び会場：

平成 30 年 3 月 23 日（金）、
新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

・講師：

厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室
医療人材専門官 木多村知美 氏

・パネルディスカッション

コーディネーター：

済生会新潟第二病院 院長 吉田俊明 氏

パネリスト：

外国籍住民のための医療相談会実行委員会 代表 岡野篤夫 氏

長岡赤十字看護専門学校 専任教師／長岡赤十字病院 MERU 統括 平野美樹子 氏

糸魚川国際人材サポート協会 事務局・通訳コーディネーター 富岳優美子 氏

・参加者：52 名



外国人への医療支援に関するセミナー

(3) ボランティアバンクの運営

国際交流イベントを支援する意志のある者を「通訳・翻訳ボランティア」や「アースサポーター(イベント運営ボランティア)」としてボランティアバンクに登録し、主催者からの要請に基づきボランティア保険を付けて派遣した。

また、登録ボランティアに対する研修会を実施し、ボランティアの資質向上とボランティアバンクのさらなる活性化を図った。

ア 通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 212 名
(英語 123 名、中国語 53 名、韓国語 21 名、スペイン語 3 名、ロシア語 3 名、その他の言語 9 名)
- ・アースサポーター登録者数 89 名
- ・イベント等への派遣 要請 7 件、派遣 43 名

イ 通訳ボランティアセミナーの開催

登録者を対象に通訳技術の向上等を図るセミナーを開催した。

- ・期日及び会場：平成 30 年 3 月 17 日(土)、
朱鷺メッセ
- ・講師：(特活)国際活動市民中心・相談通訳
宮城京子 氏
- ・参加者：34 名



通訳ボランティアセミナー

(4) 国際交流インストラクター養成事業

〔新潟国際情報大学、敬和学園大学、新潟県立大学、上越教育大学、新潟大学連携事業〕

大学生 114 名(国情大 27 名、敬和大 9 名、県立大 30 名、上教大 32 名、新潟大 16 名)を国際交流インストラクターに委嘱し、小中学生・高校生等を対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるための国際理解ワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内 32 校(小学校 19 校、中学校 8 校、中等教育学校 2 校、
高等学校 3 校)
- ・テーマ：「世界の現実」、「世界の不平等」、「異文化理解」

(5) NGO スタッフ育成講座

国際交流・国際協力等を目的に設立された既存の NGO 団体のスタッフやこれから NGO 活動を始めたい人を対象とする研修会を(特活)にいがた NGO ネットワークに委託して開催し、NGO で活動する人材の育成を図った。

- ・期日及び会場：平成 30 年 2 月 3 日(土)、クロスパルにいがた
- ・テーマ：国際協力人材育成セミナー「発展途上国における児童教育支援を考える～
バングラデシュ北西部先住民族の子どもたちの文化教育支援について～」
- ・講師：藤崎文子 氏 ((特活)シャプラニール=市民による海外協力の会事務局次長)

(6) 国際理解教育推進支援事業

県内における国際理解教育の充実・進展を図るため、小・中・高校の教職員等を対象とした国際理解教育セミナー及びワークショップを開催した。

①セミナー

・期日及び会場：8月9日（水）新潟市立総合教育センター

・テーマ：主体的・対話的で深い学びを促す国際理解教育

アクティブラーニングの実践～『ひょうたん島問題』を題材に～

・講師：藤原 孝章 氏（同志社女子大学 教授）

②ワークショップ

・期日及び会場：9月30日（土）クロスパルにいがた

11月11日（土）上越市教育プラザ

Ⅳの3 基盤強化（広報情報提供） 1,115,494円

12. 広報・ライブラリー運営事業 648,354円

県内団体や一般県民等に対し、国際交流や国際協力に関する情報及び当協会の事業等に関する情報を広く提供した。

(1) 広報誌の発行(再掲)

県内における国際交流や多文化共生推進の取組を紹介することにより県民の国際理解を促進するため、県民を対象とした広報誌「NIA Letter」を発行し、県内高校・大学等や公共施設等に配付した。

・発行時期：8月(第12号)、12月(第13号)、平成30年3月(第14号)

・配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体等
計13,500部

【英語版】 県内大学等、公民館、図書館、市町村等 計3,500部

(2) 年次報告書の発行

当協会の事業について周知を図るとともに関係機関から事業推進への協力を得るため、平成28年度事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係各所に配布した。

(3) PR記事掲載

イベント「夏休み国際交流プラザフェア」の開催及び賛助会員の募集について朱鷺メッセのフリーペーパー「トツときガイド」を活用してPRした。

(4) プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物)を整備し、県民の利用に供した。

ア 蔵書等の状況(平成30年3月末現在)

・図書4,121冊

・各種団体発行物

(一財)自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等

・開発途上地域でのNGO活動を伝える映像資料等(ビデオ533本、DVD63本、CD134本、CD-ROM8本)

・雑誌31誌

・新聞 日本語2紙(新潟日報、日本経済新聞)

外国語4紙(イズベスチャー、ジャパントイムズ、人民日報、東亜日報)

・その他(県内外のNGOや全国の国際交流協会の機関誌、語学学習用教材等)

イ 蔵書等の活用

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞、各種団体刊行物)を県民の利用に供した(貸出は賛助会員のみ)。

13. I T活用促進事業 363,020円

多言語ホームページ(日本語、英語、中国語、韓国語、ロシア語)を運営し、各種情報を掲載するとともに、県協会ニュースや関連団体の県内外イベント情報等を定期的にメールマガジンとして配信(配信先453カ所)した。

また、フェイスブックでも情報を発信した。

14. 賛助会員募集事業 60,320円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末
個人	32	42	38	39	42
団体	56	65	61	58	63
計	88	107	99	97	105

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員	<ul style="list-style-type: none">・旅行会社利用割引・レストラン等利用割引・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 13件) (県立近代美術館割引券利用件数 3件)
団体会員	<ul style="list-style-type: none">・研修室の貸出(32件)・国際化推進活動助成金の交付 (14団体、総額1,941,000円)・印刷機の利用
個人会員 団体会員 共通	<ul style="list-style-type: none">・イベント案内等の送付・国際情報ライブラリーの図書貸出・国旗貸出(65件)、 ふれあい地球人ボックス貸出(21件)

15. 国旗等貸出事業 43,800円

国際交流活動を行う賛助会員や団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス(民族衣装・グッズ等)の貸出を行った。

・貸出実績：国旗 23団体 65件

地球人ボックス 13団体 21件